



本誌は、学校経営・運営ビジョンの実施状況や達成結果を保護者や関係者の方に公表することを目的とした、学校が発行する通信誌です。

## 学校評価アンケート集計結果報告

保護者の皆様には、昨年11月に実施しました「平成29年度学校評価アンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。今回は保護者・生徒・教員アンケートの集計結果の要点をご報告いたします。なお、本誌裏面には保護者・生徒・教員対象アンケートの集計表も掲載しましたので、あわせてご覧ください。

### 1 保護者対象アンケート結果の分析

#### 年度末の全体概況及び前年度との比較

全体平均値は3.1であり、昨年度と同じであった。最高値3.4～最低値2.8といった結果で、アンケート全20項目が概ね良好であったと分析できる。

#### 各項目の概況及び前年度との比較

前年度末の保護者アンケートでは、評価3.0を超える項目は18項目であったが、今年度は19項目に増加した。新たに増加した項目は、項目「11」である。学習と部活動の両立は以前からの課題の1つでもあり、それが評価されたのは喜ばしい。本校の教育活動が徐々に評価されつつあると思われる。一方、昨年度よりポイントが減少した項目は、項目「13」と「14」である。特に項目「14」は、生徒アンケートでも評価の減少した項目であり、関係各部と協議しながら原因を分析し、対策を講じたい。

本校の特色というべき区分「国際性」に関するアンケート項目でポイントが増加した項目「7」は評価3.4で、全アンケート項目中最高値であった。また、項目「8」は全体の最低値であったが、昨年度と同数値であり、本校図書部の活動が理解されつつある。しかしながら、依然として評価3.0を下回る項目でもあり、今後も継続的に対策を講じなければならない。今後は保護者からの意見を真摯に受け止め、改善を図っていききたい。

### 2 生徒対象アンケート結果の分析

#### 年度末の全体概況及び前年度との比較

全体平均値は2.8であり、前年度と同数値であった。各項目では全20項目中9項目の数値が0.1ポイント程度下降した。生徒にとっては学校や教員の目標設定の意図が伝わりにくいため、日頃から目標や目標値を明確にし、取り組んでいる。

#### 各項目の概況及び前年度との比較

前年度末の生徒アンケートでは、評価3.0を超える項目は5項目であったが、今年度は3項目に減少した。減少した項目は、項目「14」と「16」である。とりわけ項目「14」は昨年度新たに評価3.0を超えた項目であったので、数値が減少した原因を検証する必要があると思われる。なお、一番評価の高かった項目は、項目「7」で、昨年度と同じであった。国際科学科としての特色を教育活動に十分に活かすことができたものと判断される。一方、一番評価の低かった項目は、項目「8」で、昨年度も最低値だったことから、今後の課題である。また、生徒の意見を取り入れるなど評価を得るための工夫が必要である。次年度は今年度の評価を維持できるよう、精進していききたい。

### 3 教員対象アンケート結果の分析

#### 年度末の全体概況及び中間、前年度との比較

年度末の全体平均値は前年度と比べ0.2ポイント増加し、3.2であった。今年度中間アンケートの数値よりも上昇しており、概ね良好な評価と判断できる。個々の項目については、今後とも反省・分析を継続していききたい。

#### 各項目の概況及び前年度との比較

アンケート20項目のうち、昨年度より評価の上がった項目は14項目、下がった項目は1項目、変わらなかった項目は5項目であった。一番評価の高かった項目は項目「5」「7」「9」「14」の4項目で、評価3.4である。それぞれ、教務部・国際部・生徒指導部・進路指導部に係わる項目であり、各部がある一定の満足いく取組ができたものと分析できる。一方、一番評価の低かった項目は項目「8」で、対前年度比-0.1の評価2.8である。20項目中唯一、評価が3.0を下回る項目で、ここ数年高い数値が得られていない。関係部署と反省するとともに、評議員の方々から忌憚のない意見を頂き、改善に向けて継続的な取組を検討していききたい。

\*なお、アンケートに際し、保護者の皆様、生徒からよりよい学校づくりのための様々なご意見をいただきました。今後とも貴重なご意見を真摯に受け止め次年度以降の学校づくりや生徒指導に活かしていくとともに、より充実した学校評価活動を行って参りたいと存じます。